I Rいしかわ鉄道利活用促進アクションプランの概要 ①

プラン策定の目的

- ・本県並行在来線が将来にわたり、住民生活に欠くことのできない重要な交通手段として存続していくためには、経営の効率化と併せ、利用者の増加を図る必要がある。
- このため、IRいしかわ鉄道の利便性を向上させるための方策について、IRいしかわ鉄道と県、 市町、交通事業者及び経済団体等が連携して取り組んでいくための、当面の取組み指針として 「IRいしかわ鉄道利活用促進アクションプラン」を策定する。
- ・本プランにおける施策は当面の取組みであり、開業後の利用動向や施策の実施状況等を踏まえつつ、今後、施策の拡充について検討していく。

利用促進協議会の取組みの基本的な方針

「啓発・広報の推進」と「アクションプランの展開」の2本柱で利活用を促進。

啓発・広報 の推進 アクションプラン の展開



I Rいしかわ鉄道の 利活用促進 【啓発・広報における連携】

協議会の活動やIRいしかわ鉄道のサービス内容等について、 以下のような手法により、連携して啓発・広報を実施すること とします。

- ・県、市町の広報冊子やHP、テレビ・ラジオ枠等の広報媒体の活用
- ・団体の会報等を通じた傘下団体への周知
- ・団体が開催する会議、講演会等における説明の場の提供
- ・団体の主催行事への鉄道を利用した来場の呼びかけ

開業前から取り組む施策

I Rいしかわ鉄道が自ら取り組む施策

広報活動の推進 ※

※一部実施済を含む

県民の並行在来線への理解を深めるとともに、IRいしかわ鉄道の認知度向上を図るため、

- HP等を活用した広報活動の展開
- IRいしかわ鉄道が、自ら地域の行事やイベントに 出向き、IRいしかわ鉄道の周知や利用の呼びかけ
- 列車中吊り広告

を行う。

サポーター制度の導入

沿線住民をはじめとする<mark>県民のマイレール意識の醸成</mark>とと もに、県民の利用を促進するため、

- I Rいしかわ鉄道から会員に対する情報等の提供
- ・会員から I Rいしかわ鉄道に対する応援

など、IRいしかわ鉄道と会員との相互のコミュニケーションを図るサポーター制度を導入し、開業前から会員を募集する。

金沢駅お客さまカウンターの設置

利用者の利便性向上と安心の確保、情報発信体制の充実を 図るため、開業に先立ち金沢駅コンコースにお客さまカウン ターを設置する。

お客さまカウンターでは、定期券や企画切符等の販売をは じめ、運転状況の案内、沿線情報の提供など、丁寧な情報発 信を行う。

金沢駅の新しい顔として「おもてなしの場」を創り上げる。

アクションプランの展開

I Rいしかわ鉄道と関係団体、地域住民等が連携して取り組む施策

パーク&ライドの推進

駅までのアクセスの利便性を向上させることで、鉄道を含む公共交通機関の利用促進を図るため、

・町営の津幡駅前駐車場(平成26年中に供用開始予定)で の鉄道定期券利用者に対する優先割り当ての実施

など、駅及び駅周辺の駐車場を活用したパーク&ライドの推進に取り組む。

【実施主体】 津幡町

駅舎等での地産地消市場等の開催 ※地域サポートモデル事業活用

駅(鉄道)に親しみをもっていただくとともに、沿線地域の活性化を図るため、

- ・森本地区の商店街による森本駅での朝採れ野菜等の物産 市の開催
- ・津幡町商工会やおまん小豆の会、農業団体による津幡駅 及び倶利伽羅駅での特産品や朝採れ野菜等の販売(つー バーガーやおまん小豆アイス、まこも等)

など、地域住民や学生、団体等による駅舎や駅前広場における地産地消市場等の開催に取り組む。

【実施主体】 地域住民•学生•団体等

一、地域性以ものを減らて扱う間の地象

駅を活用したイベントの開催 <u>※地域活動サポートモデル事業活用</u> 駅を中心とした地域の賑わいを創出するため、

- ・地元大学生等による東金沢駅舎での展示イベント
- ・森本地区の商工団体によるまつり等のサテライト会場としての森本駅の活用
- ・津幡町健康ウオーク会による津幡駅又は倶利伽羅駅をスタート地点とし、町の観光資源等も活用したウォーキングイベントの開催

など、地域住民や学生、団体等による駅を活用したイベントの開催に取り組む。

【実施主体】 地域住民•学生•団体等

駅舎等の環境美化活動 ※地域活動サポートモデル事業活用

地域住民が気軽に参加できるボランティア活動を通じて、IRいしかわ鉄道に対するマイレール意識を醸成するため、

- ・地元大学生等による東金沢駅舎での美化活動
- ・津幡町の中条地区老人会等による津幡駅周辺での花プランターの設置
- •津幡町竹橋振興会による竹橋地区内沿線での環境美化活動 など、地域住民や学生、団体等による駅舎や駅前広場の環境美化 活動の実施に取り組む。

【実施主体】 地域住民•学生•団体等

┃サポートキャラバンの実施

※一部実施済を含む

県民の並行在来線に対する理解を深めるとともに、IRN しかわ鉄道の認知度向上を図るため、

- ・ JR県内全駅(37駅)で、駅利用者へのリーフルットの配布
- ・ 県内高校、沿線企業等への訪問

などにより、並行在来線の運営がJR西日本からIRいしかわ鉄道に引き継がれることを周知し、利用を呼びかける。

【実施主体】 IRいしかわ鉄道、県、地元自治体

駅周辺ガイドマップ作成 ※地域活動サポートモデル事業活用

地元商店街をはじめ駅周辺地域の活性化の取組みを、駅(IRいしかわ鉄道)に対する支援活動につなげていくため、

・森本駅周辺の女性グループによる森本駅を中心とした エリアマップの作成

など、地域住民や学生、団体等による駅周辺情報を掲載したガイドマップの作成に取り組む。

【実施主体】 地域住民•学生•団体等

I Rいしかわ鉄道利活用促進アクションプランの概要 ②

開業時から順次取り組む施策

IRいしかわ鉄道が自ら取り組む施策

他会社線の乗車券等の販売

I Rいしかわ鉄道の各駅でJR北陸線金沢駅以西やJR七 尾線、のと鉄道、あいの風とやま鉄道及び北陸鉄道の乗車券 の販売(連絡運輸)に向けて調整を進める。

連絡運輸の範囲や実施方法については、JR北陸線やJR 七尾線等の普通列車の利用状況を踏まえ、JR西日本、あい の風とやま鉄道等と協議を進める。

利用者の利便性に配慮したダイヤ設定

朝夕の通学や通勤の利便性や、新幹線及び在来線特急列車等との乗り継ぎ利便性などに配慮したダイヤ設定に取り組む。

運行時間の拡大により、利用者の利便性向上と通勤需要の 増加を図るため、金沢駅発の最終列車の出発時刻の繰り下げ に努める。

イベントに合わせた記念切符

今後増加が見込まれる観光客の二次交通としての需要の取り込みと、JR七尾線やのと鉄道も含めた利用促進を図るため、県内のイベントに合わせた記念切符や割引切符などの販売に取り組む。

IRいしかわ鉄道と関係団体、地域住民等が連携して取り組む施策

他鉄道とのフリー切符

観光やレジャー、買い物など主に休日の需要の取り込みを図るため、IRいしかわ鉄道と他鉄道区間で乗り降り自由な割引フリー切符の販売に取り組む。

IRいしかわ鉄道とJR西日本の北陸エリア(北陸おでかけパス)、IRいしかわ鉄道とJR七尾線及びのと鉄道の区間(能登ふるさと博フリー切符)の継続販売をJR西日本に引き続き要請していく。

また、IRいしかわ鉄道と北陸鉄道の浅野川線等の区間、IRいしかわ鉄道とあいの風とやま鉄道の区間での実施に取り組む。

【実施主体】 I Rいしかわ鉄道、JR西日本、北陸鉄道、 のと鉄道、あいの風とやま鉄道

買い物客向け企画商品

鉄道利用と買物などがセットになったお得感のある割引切 符の商品化に努める。

【実施主体】 I Rいしかわ鉄道、JR西日本、 あいの風とやま鉄道、商業施設

通院者向け企画切符

鉄道利用と到着駅から医療機関までのアクセスや乗り換え サポート等がセットになった企画切符の商品化に努める。

【実施主体】 | Rいしかわ鉄道、JR西日本、 二次交通事業者

イベントに合わせた臨時列車の運行

加賀・能登の祭りや地域のイベントに合わせた臨時列車の 運行を地元自治体と共にJR西日本に要請していく。

【実施主体】 | Rいしかわ鉄道、JR西日本、地元自治体

ラッピング列車の運行

「UFOのまち羽咋号」「七尾とうはくん号」といった地域をPRするラッピング列車の運行を地元自治体と共にJR西日本に要請していく。

【実施主体】IRいしかわ鉄道、JR西日本、地元自治体

観光ボランティア等と協力した「IR沿線小さな旅」

地域住民等のIRいしかわ鉄道への支援活動の促進と、鉄道を利用した新たな観光需要の掘り起こしを図るため、沿線観光団体等や観光ボランティア等の協力を得て、IRいしかわ鉄道沿線の歴史、旧跡、名所等を巡る小さな旅の企画に取り組む。

- (例)・倶利伽羅の合戦跡と義仲・巴の愛の足跡を巡る
 - ・津幡の里山に育まれた、山菜や竹の子を使用した料理を楽しむ
 - ・炭焼き、棚田体験と間伐材を利用した表札、小物づくり体験
 - 地域の古老との対話から昔の生活に思いをはせる

【実施主体】 IRいしかわ鉄道、沿線観光団体等

駅舎等を活用した県内観光情報等の提供

駅舎や車内における県内各地の観光パンフレット等の設置に 取り組む。

【実施主体】 IRいしかわ鉄道、市町

高校生によるイベント、土産品等の企画

各種イベントや土産品等の企画に高校生が参加する機会の創出に努める。

【実施主体】 IRいしかわ鉄道、高等学校

駅接続バスとの乗り継ぎ円滑化

IRいしかわ鉄道と駅接続バス事業者相互で接続便案内の実施に取り組む。

イベント会場と駅の間で町営バス等を臨時運行する。

【実施主体】 IRいしかわ鉄道、津幡町、バス事業者